



善頭エッセイ

はこだて旅便い

「今日もぷらぷら」

107

「紅に染まる山に新温泉発見か？」



文月 斉 (ふみつき さい)
埼玉県出身。
人と街、自然と文化を題材に、
みちくさばかりの旅を続ける
エッセイスト。
函館、埼玉、大阪を拠点に
旅を満喫中。

前略、変わりはないか？
ついこの前まで遅い梅雨明けと台風の話でもちきりだった気がするけど、最近はずいぶん紅葉指数という言葉を聞かない日はないね。今年はずいぶん強い日が多く、塩の影響で紅葉に影響する恵山まで紅葉狩りに行ってきた。
恵山ってツツジが有名なところじゃなかったか？ そのとおり。毎年五月の下旬になると山一面が朱橙色のエゾヤマツツジの花に覆われるんだけど、秋にも山が赤く染まるんだ。いや、季節を勘違いしたエゾヤマツツジの葉。知つてのとおり、恵山は現役火山で、今でも山腹からはもくもくと煙が立ち昇り、硫黄の臭いが立ち込めているでしょ。この手の土地が痩せたところでは育つ木の種類に限られていてね、荒地に強いツツジたちの天然の見本市になつていんだよ。恵山の山頂へ向うコース沿いには地面を這うような種類のツツジしかないけれど、5合目の火口原駐車場を挟んで向いに聳える海向山には背の高い木も多く、中腹には深い森が広がっているんだ。標高570メートルと、恵山よりピークは弱冠低いけど、山頂手前では急な登攀が続いて、なかなか登りがいのある山だよ。
駐車場から西に向かい、なかなか高原を行くと、程なく高原コースとの分岐が出てくる。そのまま真っ直ぐ道なりに進むこと10分、左右に分かれ道が出てくるんだけど、今回は左に曲がって時計回りで山頂に向うことにした。頂上までの距離はほとんど変わらないんだけど、選択したBコースは456ピークと呼ばれる小高い山を越えるコースでね、その日の太陽の位置から推測してきつと見事な紅葉が眺められるだろうと踏んだわけさ。果たして予想は大当たり。上空には青空が広がり、背後から照らす日差しを受けて、海向山の山頂付近を覆うサラサドウダンの紅葉が浮かび上がらせていた。もう4、5日後ならもっと真っ赤に染まってるだろうけど、こればかりはお天気次第だからね。この日は風もなく、空気も澄み渡り、津軽海峡を挟んだ対岸の恐山や、更に遠くの岩木山まで見ることができたよ。見事な眺めだったなあ。恵山を訪れる人の多くが駐車場東側のコースに行ってしまうけど、ぜひこっち側にも足を伸ばしてほしいよ。登山コース沿いにはピンク色のピニールテープで印が付けられているので、それを辿れば迷うこともないし、花の種類も圧倒的に多い。え？ どうせ巡るならピンク色のテープよりも赤い提灯の方がいいって？ そうだった、食いしん坊の場合、花よりもだんごの種類の方が重要だったね。恵山周辺は魚の種類も豊富で温泉宿もあるから、君はそっちに直行したらいよいよ。
そうそう、温泉といえば海向山の山頂から恵山を眺めていると、白い煙がもくもくと沸き立つのが見えたんだ。同行者一同、今までにあんなところから煙が出ているのを見たことがなかったのよ、ひよっとして新しい温泉でも噴き出したのかも喜んでいたら、結局のところ温泉でも噴火でもなかった。実は今、恵山の地熱を活用した地熱発電の開発が進められていて、ちよと発電プラントの試験をしてみたいんだってさ。めったに見られるものではないからさ。
山頂でお弁当を食べた後は、1時間ほど時間をかけてゆっくりと下山。新温泉騒ぎで盛り上がったせいか、気分はすっかり温泉モードになつていたので、麓にある函館市の恵山市民センターの温泉に寄つていくことにした。以前は老人福祉センターと呼ばれていた施設なんだけど、この温泉、60歳以上の函館市民は無料で利用できるんだよ。あいに60歳に届かない僕は有料だったけど、それでも300円というお得な価格。熱めのお湯で泉質もよく、さすがに湯上り後には冷えたピニールが恋しくなつたね。君の気持ちも少しだけ分かつたよ。次の連休にでもピニール持参で遊びにいこう。それじゃあまた。



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ

イータックス

検索